

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
鹿児島市	本名前・宮之浦 （中原集落・飯山集落）	令和4年2月28日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	15.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	12.3 ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	11.0 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.9 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	7.4 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.0 ha
（備考）	

2 対象地区の課題

当地区は、大原台地の南の端に位置し、伊敷地域の岡之原町と接している。この地域の中心経営体である畜産農家に農地の集約を図りたいところではあるが、地域内の水田は、ほぼ基盤整備が完了しているが、完了から30年以上経過しているため、迫によっては排水の悪い水田が多い。このため、一部耕作放棄地となっており、中心経営体による生産が行われていない状況である。また畑地帯では、小面積であるため所有者自らが耕作を行うなど、集約がしにくくなっている。このことから、現在65歳以上で後継者未定及び不明の耕地面積が10.3haあるが、今後これら農地の維持及び有効活用が課題である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域内の同意のとれた排水不良の水田では、今年度、暗渠排水対策の事業を導入し排水対策が行われている。これら対策の行われた水田や元からの乾田は、農業委員と連携をとり、離農や規模縮小などについて地域からの情報等の把握に努め、地区内の中心経営体のほか、地区外の水稲を生産している中心経営体やそれ以外の規模拡大を希望する後継者などに斡旋等を進め、担い手への集積・集約化を図っていく。畑については、規模が小さいことから、地域内の後継者に継続した農地の維持管理に努めるよう促すことにより、農地の保全に努める。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

農地の貸付等の意向

貸付・売買への意向が確認された農地については、95筆 8.2haとなっている。

鳥獣被害防止対策の取り組み方針

イノシシ被害防止対策への取組にあたり、補助事業等の活用を促進し、電気柵の導入等を進める。

災害対策への取り組み方針

梅雨時期などの農道・水路等被害防止のため、市農地整備課など関係各課と連携し、被害防止策を検討する。

中心経営体

属性	経営体 (氏名)	経営者 代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有 無	現状		今後の農地の引受けの意向		
					経営内容 (作目)	経営規模 (h a)	経営内容 (作目)	経営規模 (h a)	農業を営む範囲
認就	A	32 才	2 人	無	肉用牛	0.09 ha	肉用牛	0.09 ha	中原
認農	B	59 才	4 人	無	肉用牛	0.00 ha	肉用牛	2.00 ha	飯山
法	C	50 才	2 人	無	施設野菜、露地野菜	0.12 ha	施設野菜、露地野菜	0.12 ha	飯山
計						0.21 ha		2.21 ha	